

オープンハウス型説明会 開催結果報告

1 目的・開催概要

品川区では都市計画に関する基本的な方針である「品川区まちづくりマスタープラン」の改定を進めている。改定の内容について、区民との情報共有や意見収集を目的として、オープンハウス型説明会を開催した。

■オープンハウス概要

【開催周知】

区役所	区報(9/11号)、HP、デジタルサイネージ
大崎ニューシティ	インフォメーションボード掲示、チラシ設置
スクエア荏原	インフォメーションボード掲示、チラシ設置

※開催当日は、会場および付近にポスター掲出や誘導スタンド設置などを行い、通りがかりの区民等に声掛けして会場に誘導

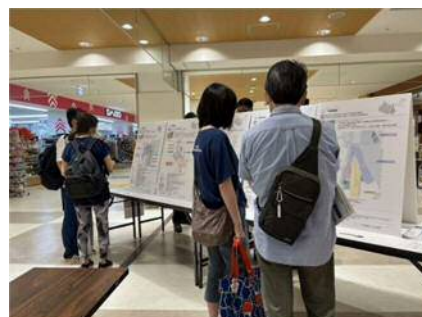
【開催日時・場所】

9/17(土) 品川区民公園パークセンター
1階 多目的スペース



来場者数
104名

9/18(日) 大崎ニューシティ 1階イベント広場



来場者数
175名

9/21(水) 品川区役所



来場者数
75名

9/24(土) スクエア荏原 4階展示室



来場者数
5名

※開催時間はいずれも10～16時



【内容】

「品川区まちづくりマスタープラン改定委員会」における第4回までの検討内容

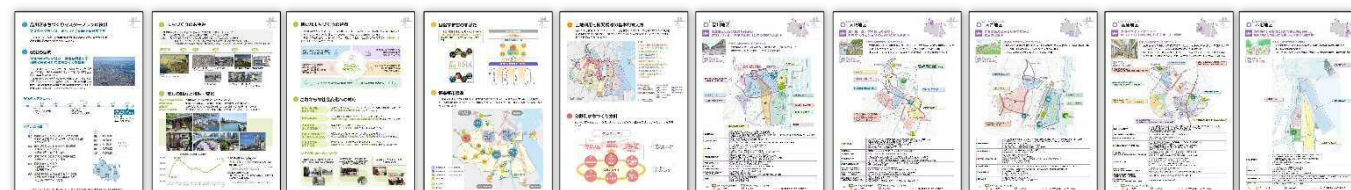
【素案】

- 第1章 品川区まちづくりマスタープランとは
- 第2章 まちづくりのこれまでと今後の展望
- 第3章 目指すまちのすがた
- 第4章 分野別まちづくり方針

【骨子案】

- 第5章 地区別まちづくり方針
- 第6章 マスタープランの実現と
まちづくりのマネジメントの展開

パネル(10枚)にまとめ、展示



【配布資料】 パネル展示資料、パネル補足説明資料

2 来場者および聴取意見

【来場者総数】 359名

- ・幅広い年齢層の方が来場 (中でも30代が比較的多かった)
- ・子ども連れの方も多く来場

【意見聴取方法・件数】

- ①当日会場に「ご意見シート」回収箱設置 **25件**
- ②当日会場での区職員の聴き取り **103件**
- ③区ホームページでの意見募集
※9/17(土)～30(金) **9件**



(分野)まちづくり に対するご意見

●防災・復興分野

重点的なまちづくり

- 災害対応を一番重点的に取り組んでほしい。
- 災害に強いまちにすることで区民の不安を軽減してほしい。

災害への備え・地震時の避難等

- 災害時の対策(液状化、河川洪水、地震・火災、避難場所・避難所)を充実してほしい。
- 避難先(大井競馬場)が海に近いので不安。
- いつ大地震が起きるかわからないので、備えるための知識や準備が必要と考える。

●都市基盤分野

歩きやすさ・移動環境

- 歩道の切り下げ部の勾配が大きい箇所がある。安心して通行できるようにバリアフリー化を進めてほしい。
- 自転車で移動しやすいまちづくりをしてほしい。
- 新 ■杖をついて歩けるよう、まちなかに椅子が設置されているとよい。

道路整備

- 都市計画道路について、住民への積極的な情報提供を求める。
- 事業中である補助29号線の見直しをしてほしい。

公共交通

- コミュニティバスを充実してほしい。

●水とみどり分野

水辺の環境・活用

- 新 ■目黒川・立会川等、水資源を活かした歩行空間整備を。
- 目黒川がきれいになる取り組みを進めてほしい。
- クーラーを係留できる場所をつくってほしい。

まちの緑化

- 自然・環境問題を改善するため、マンションや住宅付近の植栽を充実してほしい。

重点的なまちづくり

- 新 ■みどりと水に特に焦点を当て、自然を感じられるまちにしてほしい。

公園整備

- 海に面した公園を増やしてほしい。
- 公園内のテニスコートや野球場は、利用者が限定されているため、だれでも使える空間に改修してほしい。
- ドッグランがあるとよい。
- リニア中央新幹線の立坑の場所を公園にしてほしい。

スポーツ環境の充実

- 24時間いつでも利用できるテニスコートをつくってほしい。

●都市景観分野

まちの個性・街並み

- 新 ■品川の個性を残し、歩いて楽しいまちにしてほしい。
- 電柱をなくしてほしい。
- タワーマンションばかりでない街並みを残してほしい。

●環境・エネルギー分野

環境配慮

- 地球温暖化に配慮したまちづくりを進めてほしい。

●都市生活と住まい分野

居住環境

- 静かで豊かな生活ができるまちであってほしい。
- 住宅と業務のエリアの棲み分けを考慮したまちづくりを進めてほしい。
- ファミリー向けのサービスや機能が増えてほしい。
- 空き家や空きビルを活用し、雨でも遊べる室内の遊び場があるとよい。
- ボックス型の喫煙場所を増やしてほしい。
- 大規模マンションは、小学校の計画とあわせた整備が必要。
- 保育施設の設置を、まちづくりの観点でも書いてほしい。

地域交流

- 新たな住民や就業者との交流といった、ひとつつながるコミュニティがあるとよい。

まちのにぎわい・活力・利便性

- 伝統的で昔ながらのにぎわいをもったまちであってほしい。
- ショッピングモールのような大きな商業施設があるとよい。

まちづくりの進め方、計画改定や情報発信、区民意向の反映等に関するご意見

まちの変化・再開発

- 業務中心のオフィス街に休日のにぎわいがあるとよい。
- 新しい産業を起こせるまちにしてほしい。
- 再開発では、よいまちになるよう区が誘導するべき。
- 再開発の際に、計画が決定する前に、権利者以外も話し合える場があるとよい。
- 再開発が行われる地区で、住民の意見がまとまらない。
- まちの進展が急すぎると感じており、住民の分断にならないようじっくり考える時間を考慮した開発を行ってほしい。
- 再開発がされたまちは、いつも同じ景色になるように感じる。

計画改定

- 急がずに進めてほしい。一人でも多くの区民が納得できるように。

区民意見

- 子どもの意見を取り入れるため、各地域の中学生向けの説明や、新たなアイデアを募る機会を設けてみてほしい。
- オープンハウス型説明会は意見の反映方法としては弱い。
- 地域ごとに人を集めて意見交換できる場をつくってほしい。
- いろいろな立場の人々を巻き込んだ計画づくりを求める。

(地区)まちづくり に対するご意見

●品川地区

地域資源

- 品川浦の景観を残しつつしてほしい。
- 品川海苔の養殖の歴史を忘れることのないようにしてほしい。

歩きやすさ

- アンダーパスの通行が不便なので横断歩道橋をつくってほしい(北品川駅付近)

●大崎地区

まちの魅力・活力

- 目黒のような、みんなが憧れるような住みたいまちに。(五反田)
- 古いビルのリノベーションにより、協業できる場づくりやスタートアップの実験場となるインフラを整備してほしい。(五反田)

新 ■歩いて楽しい通り

- 歩いて楽しい通りにしてほしい。(山手通り)
- 開発に期待している。(大崎シンクパーク付近)
- 住民を増やして悪いイメージを払しょくしてほしい。(五反田駅前)

商業業務と居住のバランス・共存

- オフィスビルばかりでなく、利便性を活かして、いろいろなまちの要素がミックスされたまち、活気のあるまちにしてほしい。(五反田)
- オフィスビルばかりで空洞化しないよう、住民が増加するよう駅前にもマンションの立地誘導を。(五反田駅前)
- 複合施設が少ないので1階に飲食を増やしてほしい。
- 車がなくてもいけるスーパーなどの大きな商業施設があるとよい。(大崎駅西側)
- まちのにぎわい、暮らすひと・働くひとの交流の仕掛けがあるとよい。

公共交通

- コミュニティバスを充実してほしい。(武蔵小山⇄大崎)
- 民間従業員用バスに一般客も乗れるようにしてほしい。(大崎⇄大井町)

移動ルート・道路整備・自転車利用環境

- 小学校裏に一本通りが欲しい。(御殿山)

街並み形成・環境改善

- 風俗店舗等が立地するエリアは、子どもに配慮した環境改善を行ってほしい。(五反田駅前)
- ヒューマンスケールのまちづくりをサポートする仕組みを作してほしい。(大崎・五反田・大崎広小路)

コミュニティ

- 良好な住宅地で再開発により低層マンションや空き地が目立ってきている。地域コミュニティの存続が危うい。拠点づくり(行政サービス関連施設)の支援を考えてほしい。(島津山・池田山)

地域主体のまちづくり

- 若者・よそ者を積極的に呼び込み、新しいものへのチャレンジを応援するまちづくりを進めてほしい。(五反田バレー)
- まちづくり協議会のサポートをしてほしい。(五反田)
- 周辺住民によるにぎわいがほしい。

●大井地区

まちの魅力・暮らしやすさ

- 工場地帯のイメージだったが意外と住みやすいと感じる。区としてアピールをしたほうがよい。
- 企業や商業を誘致してほしい。(西大井周辺)
- まちの活性化を求める。(大井町～大森)(西大井駅周辺)

道路・歩きやすさ

- 通行区分の変更やポールの撤去により、車椅子を利用しやすくしてほしい。
- 歩道を車椅子が通過できるよう無電柱化を実施してほしい。
- 原踏切の通行改善をしてほしい。(西大井)

公共交通

- バス路線が充実するとよい。(武蔵小山⇄大井町)
- 民間従業員用バスに一般客も乗れるようにしてほしい。(大崎⇄大井町) ※再掲

区役所整備

- 区役所建替えて環境が大きく変化する中で、高齢者にやさしい変化を求める。
- 景観に配慮した区役所整備をしてほしい。

地域主体のまちづくりの支援

- 「まちづくり方針案」に基づく地域主体のまちづくりの一層の支援をしてほしい。(西大井)

まちづくりマスタープラン(地区別まちづくりの方針)への記載

- 道路整備と一体となった市街地の更新について記載の追加してほしい。(西大井駅周辺)
- 地域生活拠点としての商業機能の拡充やにぎわいに関する記載を追加してほしい。(西大井駅周辺)
- 西大井駅周辺エリアの範囲の見直しを。(西大井駅周辺)

●荏原地区

暮らしやすさ

- 大型スーパーが立地してほしい。

歩きやすさ・自転車利用環境

- 商店街を安全に歩ける環境にしてほしい。(戸越)
- 新 ■駅と駅が近いので、一駅歩きたくなくなるような道づくりを。(武蔵小山⇄戸越など)
- 車両通行禁止をなくし、自転車で行けるようにしてほしい。(武蔵小山⇄戸越)

公共交通

- バス路線の充実。(武蔵小山⇄大井町) ※再掲
- コミュニティバスを充実してほしい。(武蔵小山⇄大崎) ※再掲

オープンスペース

- 新 ■遠出せずに、高齢・コロナ禍でも触れ合える場所を身近に整備してほしい。